

# 【上智大学 SGU事業の取組と成果】

【平成25年(2014年度) - 令和5年(2023年度)】

## ■ 上智大学の本事業の目的

本学の教育精神である「For Others, with Others」を備え、地球的課題に対して果敢にチャレンジする人材を育成する、先導的なグローバル教育の展開と環境整備の実現

SGU

### SGU事業概要

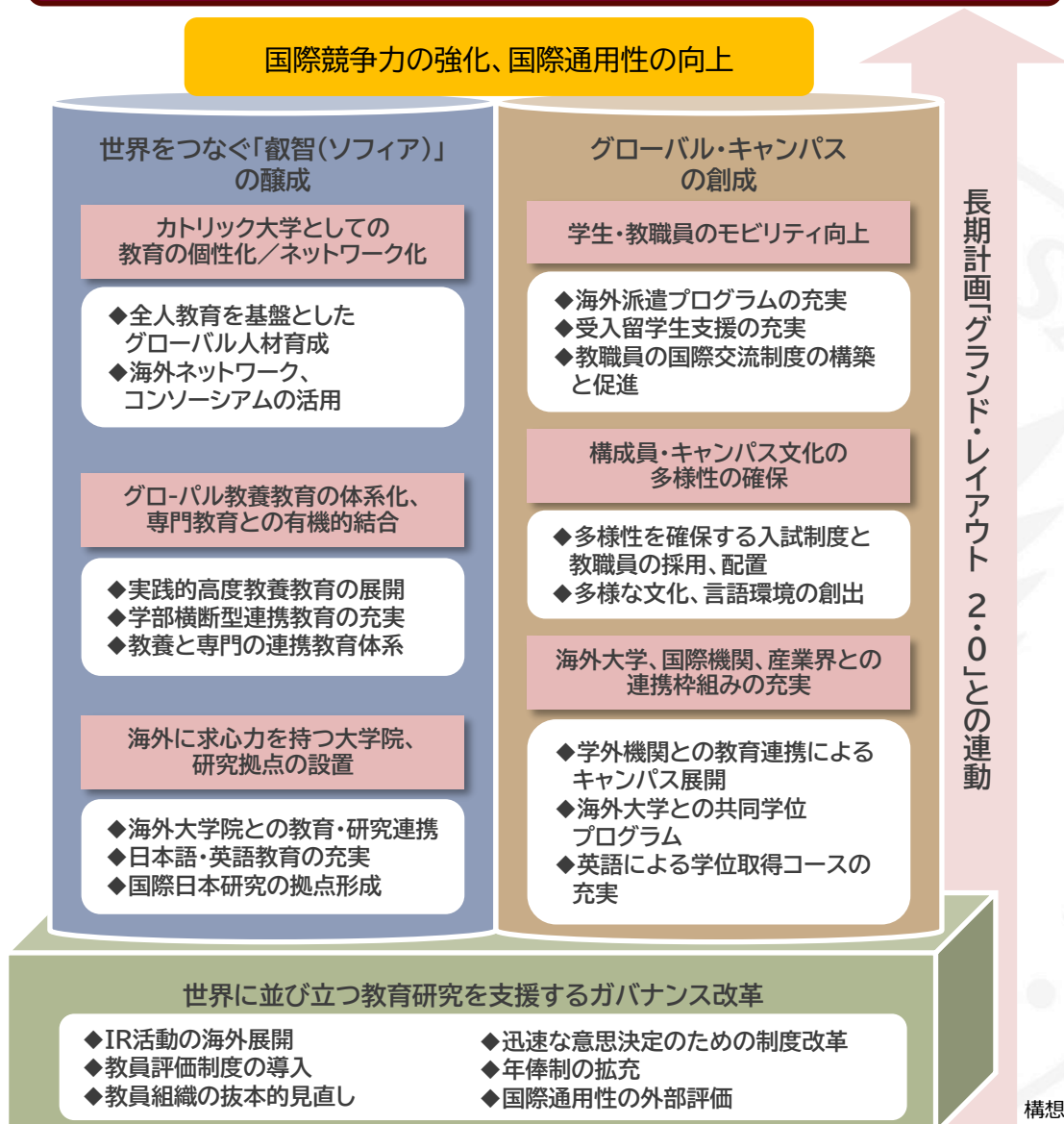
上智大学のSGU事業では、以下の構想と3つの柱の下、「国際競争力の強化」と「国際通用性の向上」を目指して、様々な取組を実施した。

○ **構想**：「多層的ハブ機能を有するグローバルキャンパスの創成と支援ガバナンスの確立」

○ **3つの柱**：

- ① 世界をつなぐ「叡智（ソフィア）」の醸成
- ② グローバルキャンパスの創成
- ③ 世界に並び立つ教育研究を支援するガバナンス改革

多層的ハブ機能を有するグローバル・キャンパスの創成と支援ガバナンスの確立



# 上智大学 グッドプラクティス紹介 (1)

## 第1の柱：世界をつなぐ「叡智（ソフィア）」の醸成：グローバル教育プログラムの整備における取組と成果

カトリックイエズス会の教育精神を備え、地球的規模の課題に対して果敢にチャレンジできる人材を育成する先導的なグローバル教育の拡充に取り組んだ。留学支援やグローバル教育科目を提供する「グローバル教育センター」を設置し、協定校やグローバル教育プログラムを拡充したほか、SPSF (Sophia Program for Sustainable Futures) - 持続可能な未来を考える6学科連携英語コース-を新設し、多様な価値観を受容し、「叡智で世界を繋ぐ」実践力を持つ人材育成につながった。

### ■ 多様なグローバル教育プログラムの拡充

グローバル教育プログラムの推進主体となる**グローバル教育推進室**を設置し、専門性と教養を身に付け、国際社会で活躍できる力を育む多様な経験の機会を用意した。**協定校の増加 (63か国343校)** による留学プログラムの拡充に加え、国内外の国際機関やグローバル企業、駐日外国公館等での**インターンシップ科目の充実**を図った。また、本学教員の専門性やネットワークを活用し、海外現地での実情を知る実践型プログラム（ニューヨークやジュネーブで国際機関について学ぶ研修、東南アジアやアフリカでの研修等）を数多く開発、実施し、実践型プログラムへの参加者は事業開始前の4倍(約200人)に増加した。今後も様々な地域、テーマでの学びの可能性を広げていく。



国連集中研修 (米国・NY)

### ■ 海外大学院との連携プログラム強化 (ダブルディグリー・3+2プログラム)

海外の名門大学院への進学を後押しする「**海外大学院特別進学制度**」や、「**3+2プログラム**」(国内での学部3年と海外での修士2年を接続したプログラム)を構築し、2016年度から2023年度には前者で計14人、後者の3+2プログラムで計7人が海外大学院へ進学した。



ジュネーブ国際・開発研究大学院

### ■ 英語による学位取得コース「Sophia Program for Sustainable Futures」の新設

持続可能な未来をテーマにした英語コース「Sophia Program for Sustainable Futures」(SPSF) を新規開設した。パンデミックの中でのスタートとなったが、2020年秋に教育、社会、経済、総合グローバル学科の4学科で学生受入を開始し、2023年秋には当初の計画通り、全6学科に約170人が在籍するプログラムにまで成長した。各学科の専攻分野に加えて「**持続可能な未来**」をテーマとする**共通科目**を履修することにより、地球的課題である持続可能性の問題に貢献できるグローバル人材の育成に取り組んだ。



SPSFの授業風景



### ■ キャンパスでのグローバル教育科目の充実

英語コースだけでなく、全学共通科目や各学部で提供する外国語での実施科目の充実にも取り組んだ。これにより、外国語で実施する科目の全授業科目に占める割合は、事業開始の**平成25 (2013) 年の924科目 (13.6%)** から、**事業終了年度は1,847科目 (23.5%)** と約2倍に上昇した。

また、2018年度よりオンラインを活用した海外大学との協働プログラム開発を進め、「**大学の世界展開力強化事業**」では、国内3大学（本学、お茶の水女子大学、静岡県立大学）と米国10大学とCOIL (Collaborative Online International Learning) による学生交流プログラムを開始した。短期留学の事前事後にCOILでの学習を組み合わせたプログラムを実施したり、米国連携大学からの交換留学希望者と本学からの留学希望者をオンラインで繋ぐ交流会を実施することにより、長期留学への意識向上とともに、日米双方の留学予定者の不安解消につなげた。

## 上智大学 グッドプラクティス紹介 (2)

## 第2の柱：世界に並び立つ教育研究を支援するグローバルキャンパスの創成における取組と成果

## ■ 派遣・受入留学生の増加

交換留学協定校について、量的拡大と共に地域的な拡大も実現し、学生の選択肢が広がった。様々な学生のニーズに応じた多様な留学プログラムを用意することで、年間の日本人留学経験者数は採択前の約1.5倍となった。

留学カウンセラーや英語学習アドバイザーの配置や、危機管理教育の強化等、海外留学への準備、挑戦のための支援体制を充実した。

協定校数の増加に伴い、大学間協定に基づく受入外国人留学生数も順調に増加し、コロナ禍での受け入れ中断にもかかわらず、最終的には目標とした726人を上回る1,000人を達成する等、年間の受入外国人留学生数も大幅に増加した。

海外協定校数 目標412校 約2倍

32か国  
169校  
(2013年度)63か国343校  
※学術交流協定校を含めると  
403校 (2023年度)

日本人留学経験者 約1.5倍

625人  
(2013年度)889人 (2023年度)  
2019年度は1,000人

外国人留学生受入数 約1.8倍

1,358人  
(2013年度)2,480人 (2023年度)  
2019年度は2,828人

## ■ 外国人留学生受入体制の強化・充実

外部試験の導入や海外指定校制度等で多様な学生受入れの仕組みを設けたほか、国際学生寮の設置、日本人学生と外国人留学生の相互交流を促進するプログラムの充実等、学業と生活両面での交流環境の充実・強化を推進した。

留学生のキャリア形成支援の強化に取り組み、留学生対象の就職支援プログラムを年20回以上行うほか、日英中3言語での就職ガイダンスや個別相談、英語のキャリアフェア、国際寮での寮生向けのキャリアセミナーも実施した。2017年度以降、留学生向けの予約型かつ学費全額免除で受入を行う奨学金制度を創設し、途上国出身学生支援の充実を図った。

2022年度からは、ウクライナ避難民学生10人を受け入れ、経済支援も行った。様々な背景を持つ留学生を柔軟に支援できるような整備が進んだことは大きな成果である。

## ■ 受入留学生と日本人学生が共に学び交流する機会の創出

留学生と日本人学生の交流を促進するStudent Integration Program (SIP) の拠点として、2017年12月にSophia Student Integration Commons (SSIC) を設置した。SSICでは月に1-2回のペースで、日本人学生と留学生が日本文化体験を通して相互理解を深める交流プログラムを開催している。学外での宿泊プログラム等も含め、これまで123回のプログラムを実施した。年1,500人以上の学生が参加し、多様な構成員が共に経験を共有し様々な交流ができるプラットフォームの役割を果たしている。



SIPでの茶摘み体験の様子

## ■ 海外拠点の拡充

バンコク、ケルン、ニューヨーク、北京、ロサンゼルスに海外拠点を設置し、従来のルクセンブルク、上海を加えた7つの海外拠点の構築と機能強化を実施した。各拠点の特性を活かし、大学広報やリクルート活動、教育プログラムの構築や実施支援等、「多層的ハブ」の形成に貢献している。特にバンコク拠点は現地で実践型プログラムの企画実施を行うほか、2019年に現地法人化したことで、本学のみならず、他大学や高校生にも、広くグローバルな学びの機会を提供するとともに、本学のアセアン域内での活動の重要な拠点へと成長した。



ベトナムでの実践型プログラム風景

## ■ カトリック・イエズス会ネットワークを活用した教職員・学生交流の充実

AJCU-AP (アジアパシフィックイエズス会大学連盟)、ASEACCU (東南アジア及び東アジアカトリック大学連盟)、ACUCA (アジア・キリスト教大学協会)、SACRU (The Strategic Alliance of Catholic Research Universities) 等のキリスト教系大学の国際的交流ネットワークに参画し、学生のための教育プログラムのみならず、研究面での連携や、教職員の能力開発にもつながっている。

2023年11月 AJCU-AP  
国際教育実務担当者会議を開催

## 上智大学 グッドプラクティス紹介 (3)

### 第3の柱：ガバナンス改革での取り組みと成果

#### ■ グローバル化推進のための体制、仕組みの整備

教学マネジメントにおける学長のリーダーシップ強化の一環として、学部長や研究科委員長の選任において候補者に求められる基準を学長が定めることとし、教学マネジメントや大学経営全般でリーダーシップを発揮しやすい環境を整えた。

理事、学長、副学長、各学部・研究科の教員、各局局長（職員）等から成る「グローバル化推進本部」を学校法人に設置し、**全学的に連携してグローバル化を推進する仕組みを整備した**。グローバル化推進本部会議では、学生のモビリティやキャンパスの国際化の議論が重ねられ、2023年度は、事業終了後のグローバル化のあり方や国際通用性向上への取組とそれに必要な事項を議論した。会議内での議論は、学内会議文書の日英両言語化や職員の対応力向上のための研修の実施等、具体的な取組につなげた。

グローバル化に関する取組に対する国際通用性のある評価や提言を得るために、国内外の有識者で構成される「**アドバイザリーボード（外部評価委員会）**」を設置した。**対面、オンラインで4期計17回にわたり定期的に開催**したことで、グローバル化の方向性や具体的な取組への国際的かつ複眼的な視点と多くの示唆に富む提言を得られた。



国際アドバイザリーボードを定期開催

#### ■ IR (Institutional Research)：調査結果の分析、発信とIRマインドの醸成と普及

IR推進を担う「IR推進室」を2015年に設置した。IR推進と分析結果の普及に向けて、**関係教職員や経営陣が参加するIR部会を定期的に実施し**、授業評価アンケートや学生の意識調査等の各種データ分析や分析結果を共有する機会を設けている。また、教職員向けには説明会等も行い、分析結果の理解を深めている。

これにより、客観的なデータを各部門での教学施策や経営施策につなげることができるようになったほか、グローバル化推進にも欠かせないIRマインドが学部学科にも浸透し、その普及と担い手の育成にもつながっている。またファクトブックの作成、IR大学コンソーシアムでの調査の実施やIRシンポジウムの他大学との共催も行い、学内外にもその結果を広く発信する等、**国内高等教育機関全体のIRの導入・普及にも貢献した**。



2023年7月IRによる教育の質保証シンポジウムを共催

#### ■ 海外拠点の現地法人化での実践的な学びの拡充と、成果の横展開



SOPHIA GLOBAL  
EDUCATION & DISCOVERY

大学広報や留学生支援の海外拠点としてスタートしたタイ・バンコクの「上智大学ASEANハブセンター」の発展的拡充を図り、2019年4月に学校法人が一部出資して教育支援を中心とする**事業会社Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd. (Sophia GED)**を設立した。経営面の自走化を図ると同時に、本学の東南アジアでの実践型プログラムの充実、**国内他大学のプログラム開発と実施も担っている**。コロナ禍の際には、現地からのオンラインによる多くの研修をいち早く実施し、国内他大学のグローバルな学びの継続を支えた。

2020年度よりSophia GEDの新たな収益事業として、日本の高校生がテーマを決めて10か月間探究に取り組むオンライン学習プログラム「せかい探究部」を実施している。現在は第5期生約60人が自身の興味関心を深める活動を行っており、その修了生は150人以上に及ぶ。加えて、カトリック高校向けのスタディツアー等も担当する等、**本事業成果の横展開と、若い世代が海外と触れるきっかけづくり、経験の実現にも貢献している**。

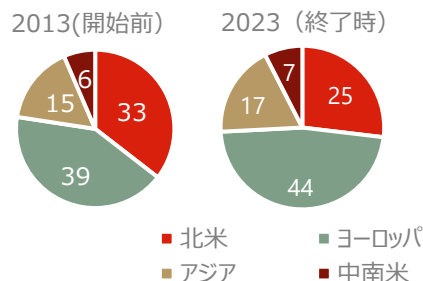


学長のリーダーシップの下での多様な取組により、グッドプラクティスで紹介したネットワークやプログラムの充実、環境整備やガバナンスの強化に加え、組織運営においても様々な好循環が生まれ、大学のグローバル化推進の基盤強化に繋がった。

## ■ 大学の将来計画と連動したグローバル化の推進

2015年-2023年度の中長期計画であるグランド・レイアウト（Grand Layout 2.0, 2.1）では、本構想でのグローバル化の推進を大学全体の主要方針にも据え、大学の中長期計画を本事業と連動させて取り組んだ。これにより、SGU事業における目標指標の約8割を達成し、一部は大幅に目標を超える成果となった。本学の長を伸ばしながら学内のグローバル化を推進するとともに、日本の国際化の伸展にも貢献できる大学へと成長することができた。なお、2023年度に開始した新中長期計画のグランド・レイアウト3.0（2023-2030）においても、大学の取組の柱はグローバル化推進と密接に関わるものとなっており、事業終了後も国際通用性向上への取組を継続している。

交換留学先地域の割合変化



## ■ 多様化の促進

海外協定校の地域的な多様化の促進により、留学プログラムの選択肢の幅が広がった。開始前と比べ、北米の協定校比率が下がる一方、ヨーロッパ各国、中南米の割合が増加し、派遣、受け入れ学生共に増加と多様化が進んだ。グローバル教育プログラムの時期・内容の多様化を進め、学生生活の様々なステージや学生の目標に応じたグローバル経験が可能となった。

海外で学位を取得した教員、女性教員の比率の増加や留学生の増加により、キャンパスの多様性が増し、キャンパスに居ながらにして多様性を尊重し、多様性から学ぶことができる環境が進んだ。多様化を支える基盤として、ダイバーシティ推進活動の強化、FDやSDを通じた教職員のグローバル対応力の強化、学内の各種書類のバイリンガル化、教員・職員・学生の協働などを進めた。

## ■ 国内他大学との協力と成果の共有、高校生へのグローバルな学びの提供

日本全体のグローバル化の発展には、各大学単体の取組だけでなく、連携した対応も必要であり、本事業期間中に国内大学との協働機会が増えたことにより、他大学の教職員間の連携による知識やノウハウの共有も進んだ。

本学海外拠点（タイ・バンコク）から発展し、事業会社として設立したSophia Global Education and Discovery Co., Ltd. (Sophia GED)は、国内他大学へのグローバルなプログラムの提供にとどまらず、日本の高校生が探究に取り組むオンライン学習プログラムの実施や高校生向けのスタディツアー等を通じ、中等教育の段階から世界の課題に興味、関心を持ち、解決策を考えていく力を養う機会を提供している。



「せかい探求部」参加学生の集いの様子

## ■ Sophia Futures Design Platform (SFDP)推進室

2023年度に自身で学びをデザインしながら多様な学習者（高校生-大学生-社会人）同士が学び合う創発のハブづくりを目指し、Sophia Future Design Platform (略称:SFDP)推進室を立ち上げた。企業、海外大学、卒業生など多様なステークホルダーとの連携等を通じた多層的な教育プログラムの提供を進め、生涯教育講座（地球市民講座）、社会人向け教養・エキスパート養成講座（プロフェッショナル・スタディーズ）、学生向けのアントレプレナーシップ教育、海外大学ビジネススクールと連携した短期ビジネスコースなど、各種教育プログラムの設置・運営に取り組んでいる。

プログラムを通して得た社会とのつながりや成果の一部は、大学の授業（正課）にも活用するとともに、収益事業の展開により、本学の収益構造の多様化にも繋げることを狙っている。

# [Sophia University's Top Global University Project (TGUP) Initiatives and Achievements]

[AY2014-AY2023]

## ■ Purpose of the TGUP at Sophia University

The Project aimed to develop and implement pioneering global education programs and establish an environment that nurtures individuals who embody the university's educational philosophy of "For Others, with Others" and boldly tackle global challenges.

SGU

### Project Overview

Under the framework and three core pillars of Sophia University's Top Global University Project (TGUP), various initiatives were undertaken with the aim of enhancing "international competitiveness" and "global compatibility."

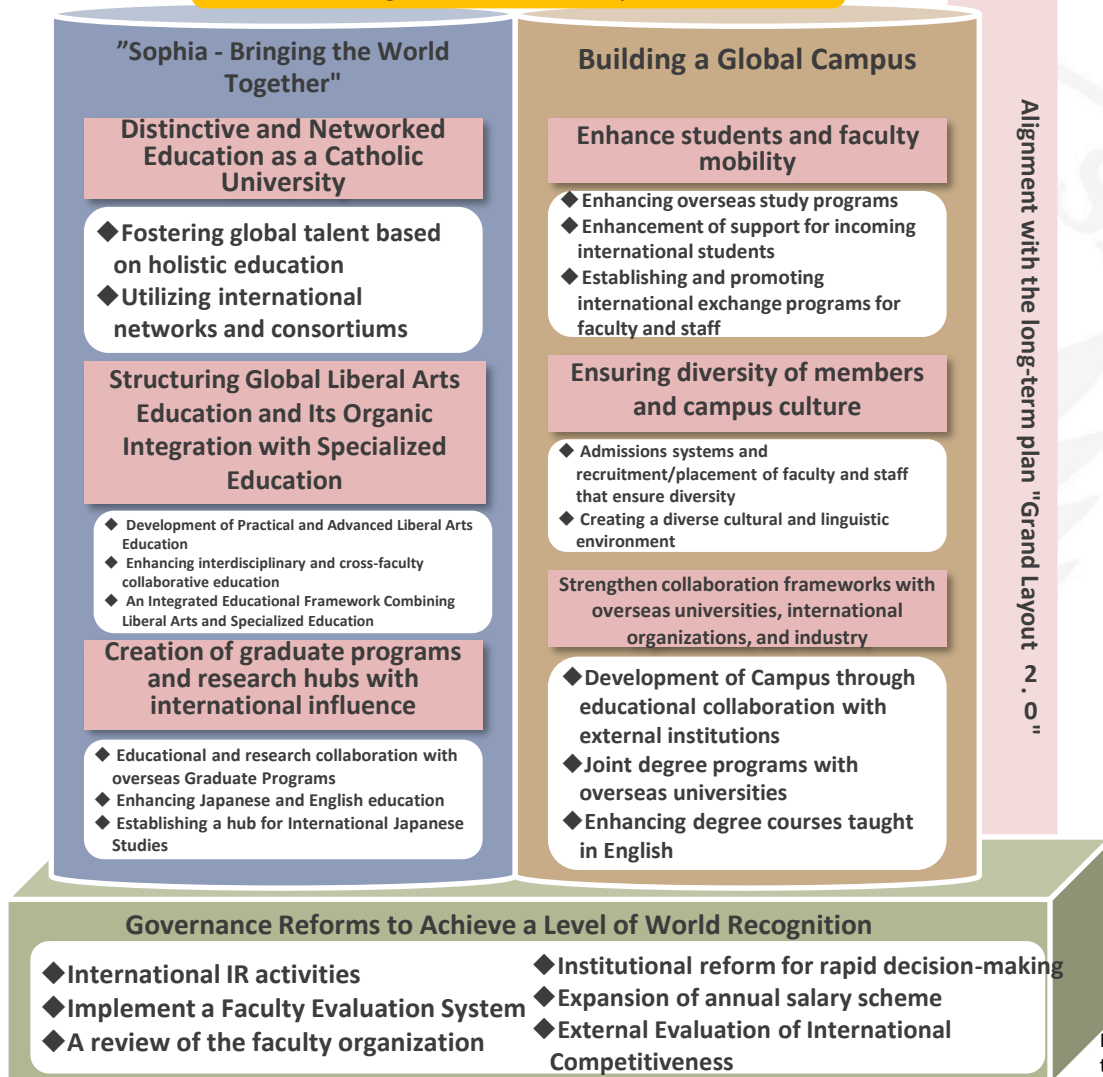
**Title: "Creating a Global Campus with Multiple Hub Functions and Supportive Governance"**

**Three pillars:**

- ① "Sophia - Bringing the World Together"
- ② Building a Global Campus
- ③ Governance Reforms to Achieve a Level of World Recognition

### Creating a Global Campus with Multi-layered Hub Functions and Establishing Support Governance

Strengthening international competitiveness and Enhancing International Competitiveness



Excerpt from the Project Proposal

# Sophia University Good Practices (1)

## First Pillar: "Sophia - Bringing the World Together": Initiatives and Achievements in Developing Global Education Programs

The University worked on expanding pioneering global education programs that embody the Catholic Jesuit educational spirit and nurture individuals capable of tackling global-scale challenges. The Center for Global Education and Discovery was established to provide study abroad support and global education courses, while also expanding partner universities and global education programs. In addition, the Sophia Program for Sustainable Futures (SPSF), an English-based program connecting six departments focused on sustainable futures, was newly launched. These efforts have contributed to fostering individuals capable of embracing diverse values and practicing the mission of "Sophia - Bringing the World Together."

### ■ Expansion of Diverse Global Education Programs

The Center for Global Education and Discovery was established as the driving force behind global education programs, providing diverse opportunities for students to acquire expertise and a well-rounded education, fostering the skills needed to thrive in the international community. The number of partner institutions increased to 343 universities across 63 countries, leading to the expansion of study abroad programs. Additionally, efforts were made to enhance internship courses at international organizations, global companies, and foreign embassies in Japan, both domestically and internationally. Furthermore, leveraging the expertise and networks of the university's faculty, numerous social engagement programs were developed and implemented to provide students with firsthand knowledge of local realities abroad. These include training programs to study international organizations in locations such as New York and Geneva, as well as programs in Southeast Asia and Africa. As a result, the number of participants in these social engagement programs increased fourfold compared to before the project began, reaching approximately 200 participants. The university will continue to expand opportunities for learning across diverse regions and themes.



United Nations Intensive Training (New York, USA)

### ■ Strengthening Collaborative Programs with Overseas Graduate Programs (double degree and 3+2 programs)

The University established the "Special Admission for Overseas Graduate Schools" to support students in pursuing advanced studies at prestigious overseas graduate schools, as well as the "3+2 Program," which connects three years of undergraduate study in Japan with two years of master's study abroad. Between the 2016 and 2023 academic years, a total of 14 students advanced to overseas graduate schools through the former program, and 7 students through the 3+2 program.



The Graduate Institute of International and Development Studies, Geneva

### ■ Establishment of the Sophia Program for Sustainable Futures, a Degree Course Taught in English

The University launched a new English course, the Sophia Program for Sustainable Futures (SPSF), which focuses on a sustainable future. Although it started amid the pandemic, the program began accepting students in four departments - Education, Social Studies, Economics, and Department of Global Studies - in the fall of 2020, and by autumn semester 2023, as originally planned, the program have grown to include approximately 170 students enrolled in six departments. In addition to the specialized fields of each department, students took common courses under the theme of "Sustainable Future," aiming to cultivate global human resources capable of contributing to the global challenge of sustainability.



SPSF class scene



### ■ Enhancement of Global Education Courses on Campus

Efforts were made not only within English-taught programs, but also in University-Wide General Studies Courses and in each faculty to improve the number of courses offered in foreign languages. As a result, the proportion of courses conducted in foreign languages increased approximately twice, from 924 courses (13.6%) at the start of the project in 2013 to 1,847 courses (23.5%) in the final year. From the AY2018, efforts were made to develop collaborative programs with overseas universities utilizing online platforms. Under the "Inter-University Exchange Project," a student exchange program through COIL (Collaborative Online International Learning) was launched, involving three Japanese universities (Sophia, Ochanomizu University, and the University of Shizuoka) and ten universities in the United States. Additionally, programs were implemented that combined COIL-based learning before and after short-term study abroad experiences. Exchange events were also held to connect exchange students from partner universities in the U.S. with our students planning to study abroad, fostering awareness of long-term study abroad opportunities and alleviating concerns for students from both Japan and the U.S.

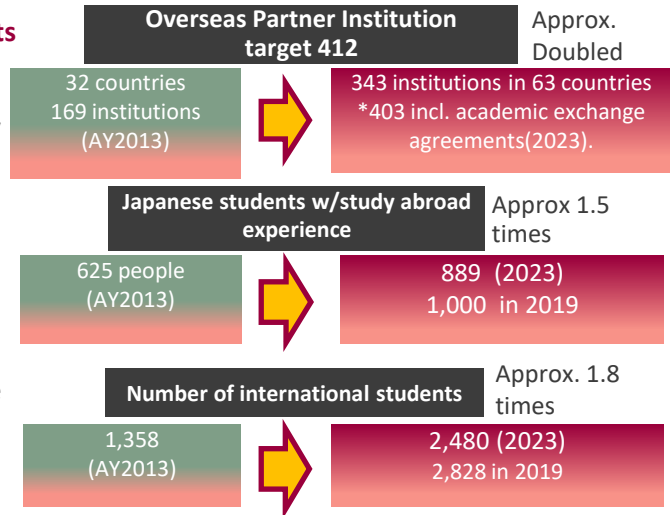
# Sophia University Good Practices (2)

## Second Pillar: Initiatives and Achievements in Creating Building a Global Campus to Support Education and Research on a Global Level

### ■ Increase in the Number of Outbound/Inbound Students

The number of student exchange partner institutions expanded, not only in quantity but also regionally, providing students with a broader range of options. By offering a variety of study abroad programs tailored to meet the diverse needs of students, the **annual number of Japanese students with study abroad experience increased to approximately 1.5 times the figure prior to the TGUP implementation.**

The University enhanced support for students preparing to study abroad by assigning study abroad counselors and English learning advisors and strengthening crisis management education. With more partner institutions, the number of incoming exchange students steadily grew. Despite a temporary suspension during the COVID-19 pandemic, **the annual number of international students increased, surpassing the target of 726 and reaching 1,000.**



### ■ Enhancement and Strengthening of the International Student Support System

In addition to **introducing external examinations and establishing a designated school system for overseas admissions** to diversify the student intake process, the University promoted the enhancement and strengthening of both academic and living exchange environments. This included **establishing international student dormitories and developing programs to foster interaction between Japanese and international students.**

To strengthen career support for international students, the University conducted over 20 job support programs annually, **including job guidance and individual consultations in Japanese, English, and Chinese**, English-language career fairs, and **career seminars at international dormitories.** The University established and expanded various scholarship programs to support students from developing countries, **offering reserved admission and full tuition waivers.** In AY2022, the university accepted 10 Ukrainian refugee students and provided them with financial support. The development of a system capable of flexibly supporting international students from diverse backgrounds represents a significant achievement.

### ■ Creating Learning and Interaction Opportunities for All Students

The **Sophia Student Integration Commons (SSIC)** was established in December 2017 as a base for the Student Integration Program (SIP), which promotes exchanges between international students and Japanese students. SSIC holds exchange programs once or twice a month where Japanese and international students can deepen mutual understanding through experiencing Japanese culture. To date, **123 programs have been held**, including off-campus overnight programs. More than 1,500 students participate each year, and it serves as a platform where diverse members can share experiences and have various exchanges.



International and domestic students experience tea picking together in SIP

### ■ Expansion of Overseas Offices

The University established overseas offices in Bangkok, Cologne, New York, Beijing, and Los Angeles, adding to the existing locations in Luxembourg and Shanghai, resulting in the development and enhancement of a total of seven overseas offices. These offices leverage their unique locations **to form 'multi-layered hubs' through public relations, recruitment, and educational program development.** The Bangkok office, in particular, has grown to become a key hub in the ASEAN region for Sophia, actively planning and implementing local social engagement programs. Since its **incorporation as a local entity in 2019**, it has provided global learning opportunities for our university, other universities, and high school students.



Social engagement program in Vietnam

### ■ Enhancing Faculty, Staff, and Student Exchanges via the Catholic Jesuit Network

The University is part of international Christian networks, including AJCU-AP (Association of Jesuit Universities in Asia and the Pacific), ASEACCU (Association of Catholic Universities in Southeast and East Asia), ACUCA (Asian Association of Christian Universities), and SACRU (The Strategic Alliance of Catholic Research Universities). These networks offer educational programs for students and opportunities for research collaboration and capacity development for faculty and staff.



November 2023 hosted AJCU-AP International Officers' Meeting



## Third Pillar: Initiatives and Achievements of Governance Reform

International advisory board meetings were held regularly

### ■ Establishment of Systems for Promoting Globalization

As part of efforts to strengthen the President's leadership in academic management, the President will now set criteria for selecting candidates for Deans and Directors of graduate programs. This has created an environment where leadership can be more effectively exercised in both academic management and overall university administration.

**Global Promotion Headquarters Council** was established within the school corporation, including a trustee, the president, vice presidents, faculty members from each department and graduate school, and directors of each bureau. This structure promoted globalization through university-wide collaboration. The Sophia Committee for Promotion of Globalization discussed student mobility and campus internationalization. In AY2023, the focus was on post-project globalization, enhancing international compatibility, and necessary measures to achieve these goals. These discussions led to initiatives such as making university meeting documents available in both Japanese and English and implementing training to improve staff response capabilities. To obtain internationally recognized evaluations and recommendations on globalization efforts, an 'Advisory Board (External Evaluation Committee)' was established, consisting of experts from both domestic and international backgrounds. Through 17 sessions held over four terms, both in-person and online, the university gained international and multifaceted perspectives on globalization and specific initiatives. These sessions provided numerous insightful recommendations.



### ■ IR (Institutional Research): Analysis and Disseminating Survey Results, and Fostering an IR Mindset

An "IR Promotion Office" responsible for advancing Institutional Research (IR) was established in 2015. To promote IR initiatives and disseminate analysis results, regular IR subcommittee meetings are held with the participation of relevant faculty, staff, and management. These meetings provide opportunities to share various data analyses and results, such as course evaluation surveys and student perception surveys. The results of the analysis were also shared on campus at information sessions for all faculty and staff.

As a result, objective data can now be linked to educational and management policies in each department. Additionally, the IR mindset, which is essential for promoting globalization, has permeated the faculties and departments, contributing to its dissemination and the development of personnel.

IR office also created a fact book, conducted surveys within the IR University Consortium, and co-hosted IR symposiums with other universities. These efforts have been widely shared both within and outside the university, contributing to the introduction and spread of IR across higher education institutions in Japan.



Co-hosted Symposiums on Quality Assurance in Education through IR



### ■ Expansion of Practical Learning through the Incorporation of Overseas Office as a Local Entity and Dissemination its Outcomes

To further develop the "Sophia University ASEAN Hub Center" in Bangkok, Thailand, which began as an overseas office for university public relations and study abroad support, a new company focused on educational support, **Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd. (Sophia GED), was established** in April 2019 with partial investment from the school corporation. Aiming for self-sufficiency in management, it enhances our university's social engagement programs in Southeast Asia and develops and implements programs for other universities in Japan.

During the COVID-19 pandemic, Sophia GED implemented many online programs from local locations, supporting the continuation of global learning at Sophia and other universities in Japan.

Starting in AY2020, Sophia GED has been running a new revenue-generating program: an online learning program called "Sekai Tankyu-bu" (World Exploring Club), where Japanese high school students choose a theme and engage in a 10-month research project. Currently, around 60 fifth-term students are engaged in activities to deepen their interests, and over 150 students have completed the program to date in four cohorts.

Sophia GED also organizes study tours for Catholic high schools in Japan, contributing to the dissemination of this project's outcomes. Additionally, it creates opportunities for the younger generation to engage with and experience overseas environments.



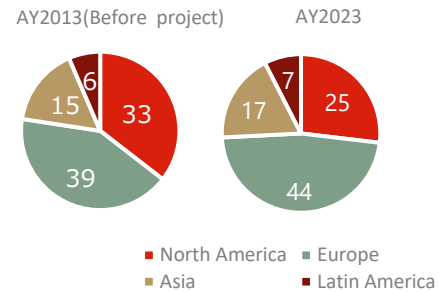
## Outcomes obtained through TGUP Initiatives at Sophia

Under the president's leadership, various initiatives have enhanced networks and programs recognized as good practices, improved infrastructure and governance, and created positive cycles in organizational management. These efforts have strengthened the foundation for promoting the university's globalization.

### ■ Promoting Globalization in Alignment with the University's Future Plans

In the mid- to long-term plans, Grand Layout 2.0 and 2.1 (2015-2023), the promotion of globalization was established as a key policy for the entire university. The university's mid- to long-term plans were aligned with this project to ensure coordinated efforts. As a result, **approximately 80% of the target indicators for the TGUP were achieved, with some results significantly exceeding the targets.** While enhancing Sophia's unique strengths and promoting globalization within the institution, it has grown into a university that also contributes to the advancement of internationalization in Japan. In the new mid- to long-term plan, Grand Layout 3.0 (2023-2030), which began in the 2023 academic year, the university's initiatives remain closely tied to the promotion of globalization. Efforts to enhance international compatibility continue even after the project's completion.

Changes in the proportion of regions hosting student exchange programs



### ■ Promotion of Diversity

The promotion of **geographical diversification of overseas partner universities** has **expanded the range of options for study abroad programs.** Compared to before the project began, the proportion of partner universities in North America has decreased, while the proportion in European countries and Latin America has increased. This has led to an increase and **diversification in both the number of outbound and inbound students.** The diversification of the timing and content of global education programs has enabled students to gain global experiences tailored to various stages of their student life and their individual goals.

The increase in faculty members with degrees from overseas, the higher proportion of female faculty, and the rise in international students have enhanced campus diversity. This has **fostered an environment where diversity is respected and learned from, even while on campus.**

As a foundation for supporting diversity, the University has strengthened its diversity promotion activities, enhanced the global responsiveness of faculty and staff through Faculty Development (FD) and Staff Development (SD) programs, bilingualized various internal documents, and fostered collaboration among faculty, staff, and students.

### ■ Collaboration and Sharing of Outcomes with Other Universities in Japan, and Providing Global Learning Opportunities for High School Students

The development of globalization across Japan requires not only individual efforts by each university but also coordinated responses. During the project period, opportunities for collaboration with domestic universities increased, facilitating the sharing of knowledge and expertise among faculty and staff from different institutions.

Sophia Global Education and Discovery Co., Ltd. (Sophia GED), established as a business entity from our overseas office in Bangkok, Thailand, not only provides global programs to other universities in Japan but also offers opportunities for high school students. Through online learning programs where Japanese high school students engage in research and study tours, Sophia GED fosters interest in global issues and the ability to think about solutions from the secondary education stage.



"World Exploring Club" participating students

### ■ Sophia Futures Design Platform (SFDP) Promotion Office

In the AY2023, the **Sophia Future Design Platform (SFDP) Promotion Office** was **established with the aim of creating a hub for emergent learning.** The platform allows diverse learners, including high school students, university students, and working professionals, to design their own learning experiences and learn from each other. Through collaboration with various stakeholders, including companies, overseas universities, and alumni, the University is advancing the provision of multi-layered educational programs. These include lifelong learning courses (Global Citizenship Courses), liberal arts and expert training courses for working professionals (Professional Studies), entrepreneurship education for students, and a short-term business course in collaboration with overseas university business school. Sophia is actively involved in the establishment and operation of these diverse educational programs.

Some of the connections and outcomes gained through these programs are utilized in the university's regular courses. Additionally, by developing revenue-generating projects, the University aims to diversify the university's revenue structure.